

設立17年、会合30回の長い歴史

囲碁同好会

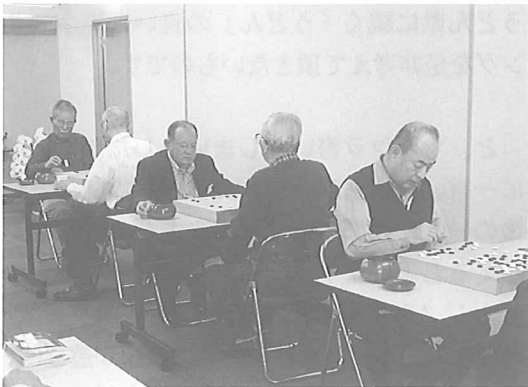
囲碁同好会活動報告 梶村義士 (S23年卒)

はじめに

24年度春期囲碁同好会は、4月28日に赤坂溜池の細川ビル「葵クラブ」で開催されました。参加者は14名で、震災のあった昨年度より増加しました。喜ばしく思います。闘志を燃やして戦った結果、優勝は森田健一5段 (S32年卒)、二位は森川伝2段 (S35年卒)、三位は川添和夫3段 (S25年卒) でした。前回より若手が増えたことは特筆大書すべき誠にうれしい兆しであります。



優勝決定戦風景



対局風景

●本同好会の特色

本会は総会での同期会等の「横糸」だけでなく「縦糸」の役割を果たす目的をもって、平成7年に設立されました。爾来17年、会合は今年で30回になりました。囲碁愛好者にとって誠に有意義な有難い会です。今の常連参加者の半数は発足以来の同好者です。17年は本当に良き長い歴史です。

また、当会では当初から大会後の二次会がさらにこの集いを盛り上げてくれます。和気あいあいと心が温まります。

●囲碁の効用／強くなるには

私見ですが、囲碁の効用は人と人との触れ合いである。囲碁は技と技との戦いであるが、同時に人格と人格の触れ合いである。これほどの貴重な時を過ごすことが出来るのは、何ととっても囲碁が最高であろうと思う。また、技と技との戦いは頭脳の鍛錬・昇華につながることは間違いない。

この二つは高齢者の人生を活性化させるものであり、幸せな余生をもたらす。

最後に高齢者の囲碁の力量アップする手段の一つを述べます。

それは、新しい打ち方、新しい手法、新しい考え方に触れ、且つ試すことにつける。

若手の皆さんもどんどん参加してほしいと思う。



連絡先 代表 井上 榮 (S33卒)
幹事 丸田 晃 (S25卒)
幹事 横田義直 (S35卒)

sakae-ino@sky.sannet.ne.jp

yokota-ys@nifty.com